

東京都住宅供給公社 第133回評議員会議事録

1 開催日時

令和8年7月17日（金）10時28分から11時21分まで

2 開催場所 東京都住宅供給公社 本社3階大会議室

3 出席者

（1）評議員総数 12名

（2）出席評議員 11名（うちオンライン出席7名）

評議員 荒木 ちはる	評議員 岩佐 ゆきひろ
評議員 小川 洋介	評議員 尾崎 大介
評議員 加藤 雅之	評議員 里吉 ゆみ
評議員 瀬良 智機	評議員 千葉 茂寛
評議員 永島 恵子	評議員 ほっち 易隆
評議員 水戸部 繁樹	

（3）出席した役員数 8名（うちオンライン出席2名）

理事長 浜 佳葉子	副理事長 林 健一郎
理事 小野 幹雄	理事 菅原 雅康
理事 齊藤 広子	理事 大塚 万紀子
監事 居原 健一	監事 友田 順

（4）その他の出席者 13名

公社住宅事業部長、管理改善・コミュニティ担当部長、
住宅総合企画部長、住宅再生推進担当部長、
住宅営繕部長、営繕・工事監理担当部長、公営住宅管理部長、
窓口運営部長、技術管理部長、DX推進部長、DX推進担当部長、
総務部長、監査室長

4 議長

評議員 瀬良 智機

5 議 題

第1 令和7年度 業務報告

第2 令和7年度 決算

6 議事の経過

(1) 事務局より、評議員11名が出席しており、評議員会規程第7条第3項により本会が成立していることを報告した。

(2) 議長が議事録署名人の選出方法を諮り、議長一任の声を受けたため、ほっち評議員及び水戸部評議員を議事録署名人とすることを諮り、了承を得た。

(3) 議長は、議題第1及び議題第2について一括して公社役員から説明を受け、その後、意見を受けることを評議員に確認し、林副理事長が議題第1及び議題第2について説明した。

議長が意見等の有無を確認したところ、評議員から主に以下の意見等があった。

- ・住宅ストックの老朽化や修繕需要の増加、建築コスト上昇等を踏まえ、公共性と持続可能な経営の両立を図りながら住宅ストックのマネジメントについて適切に判断されていくことを期待したい。
- ・共益費改定にあたっては、住民の方の理解や納得を一層得られるよう、より丁寧に説明するとともに、通知内容の工夫や情報発信の充実に努めるべきである。
- ・J K Kの都営住宅管理業務における成果について評価している。その上で、業務を受託している立場から、改善すべき点があれば、都に対して積極的に提案していくことが強みになるので、是非とも取り組んでいただきたい。
- ・中東情勢の影響による資材価格の高騰を踏まえ、工事店等の小規模事業者に対して適時的確に単価を見直すなどの積極策を打ち出すべきと考える。
- ・建設業の働き方改革に向けて、提出書類の削減、適正な工期設定や工期延伸の仕組みづくりなど、パートナーである事業者のために改善を進めていただきたい。
- ・公社が保有する既存ストックを活用したアフォーダブル住宅について、高い応募状況であることを踏まえ、今後さらに供給を拡大していただくとともに、家賃負担に課題を抱える幅広い世帯への支援についても検討していただきたい。
- ・鷲宮西住宅の建替え事業について、自治会や住民からの理解が得られるよう丁寧に説明していただくとともに、様々な支援の可能性についても検討していただきたい。

以上により、第133回東京都住宅供給公社評議員会の議事を全て終了し、議長は11時21分に閉会を宣言した。

令和8年10月6日

議	長	評議員	瀬良	智機
---	---	-----	----	----

議事録署名人	評議員	ほっち	易隆
--------	-----	-----	----

議事録署名人	評議員	水戸部	繁樹
--------	-----	-----	----